令和６年11月９日
中峰明本和尚（普応国師）
７００年遠諱　厳修

栖雲寺開山業海本浄和尚の師僧である中峰明本和尚(普応国師)の700回忌法要を厳修します。

正当は令和4年8月14日でしたが、新型コロナウイルスの蔓延や準備の都合で開催することができずにおりました。2年遅れとはなりますが、鎌倉の大本山建長寺から吉田正道管長猊下、甲斐恵林寺から古川周賢老師をお迎えし、延在の700年遠諱として国師を称える報恩行にしたいと考えております。

関係者各位におかれましては、御理解と御協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

当山所蔵　重要文化財　普応国師坐像

鎌倉禅研究会
講師を務めます

建長寺や円覚寺を会所として開催している鎌倉禅研究会で拙僧が講師を務めることになりました。慣れない講義ではございますが、どうぞご拝聴ください。

日時　令和5年11月30日(木)
13時～14時

会所　大本山　建長寺

講義　臨済宗幻住派の
天目山栖雲寺について

鎌倉禅研究会は月に一度の開催で、この回が191回目となります。高僧や学者など各界の御歴々が非常に深くレベルの高いコアな講義をしている勉強会なので、私の薄っぺらい講義は完全に前座です。その後に本格的な講義がございまして、京都花園大学教授の衣川賢次先生による特論「蘭渓道隆」です。こちらは素晴らしい内容なので是非ご参加ください。

建長寺拝観料５００円の他に、資料代として５００円をお納めいただきます。

定例坐禅会のお知らせ

☆毎月最終日曜日　午前7時～8時30分　★志納金300円

本堂坐禅30分・霊石泉岩坐禅30分・茶礼30分の内容で行っています。
初めての方には心得を説明しますので6時45分までにお越しください。

＜発行者＞　臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺　住職 青柳真元
〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122　TEL 0553-48-2797
ホームページhttp://www.tenmokusan.or.jp　または[栖雲寺]で検索

公式ホームページ　お寺の説明、行事案内など
住職日単(blog)　日常をありのままに、住職日誌
Instagram　天目山の写真　*Please follow*

栖雲寺たより

天　目

第４４号
発行日
令和５年１０月１日

寺宝　信玄公愛用　兎の文鎮

宝物風入れ展
三日間開催

重文の普応国師坐像、県文の十字架捧持マニ像など数十点の寺宝を三日間限定で特別公開します。

十字架捧持マニ像

三日間限定
御朱印

甲府市にある蕎麦と鳥モツの名店
川田奥藤
第二分店

様から摩利支尊天の真前に蕎麦をご奉納いただき、大般若祈祷を厳修いたします。参列者の無病息災や諸願成就の御祈祷をするとともに、祈祷後には摩利支天様からの御利益として参拝者に〈陽炎蕎麦〉が振る舞われます。

午前10時より　先着300名

※風林火山武将隊から武田勝頼公も奉納の儀に参列します。

蕎麦奉納　11日(土)のみ開催

茶席　於 石庭会館　十一日(土)、十二日(日)開催

お抹茶の接待がございます。どうぞごゆっくりお過ごしください。

その他毎日開催

※雨天時は中止になる場合があります

★住職の法話(約15分)　11時～、13時～　※11日は13時のみ
★住職の宝物解説　12時～12時30分
★幻住坐禅会　8時～8時45分　※別途志納金300円
☆☆景徳院様との武田家菩提寺参拝コラボ御朱印

日時：令和5年　11月10日(金)～12日(日)

午前９時から午後３時まで　志納金８００円

※お寺周辺の駐車場は極端に少なく大混雑となります。大和小学校の校庭を臨時駐車場として送迎バスが運行されますので、なるべくシャトルバスをご利用ください。

【令和5年　5月　～　9月の報告】

5月、6月　修学旅行の児童を案内

春は修学旅行シーズン。甲州市内の小学校に限らせていただいておりますが、事前に連絡を頂戴した学校の児童達に建長寺の案内をしております。自分の小中学校時代を思い返すと「建物や仏像がすごかった。」くらいの印象しか残っておりません。その感覚も大切なことなのでしょうが、現地のお坊さんが短くても直接説明するだけで感じ方が全然違うだろうと考え、近年取り組んでおります。

今年は市内の小学校９校の児童達に建長寺の案内をさせていただきました。

5月20日　第２回コスプレ撮影会　開催

刀剣乱舞のコスプレ

申し込み開始からわずか半日で定員に達した第２回天空石庭の撮影会は、今回も参加者の皆様に大変お喜びいただき天気にも恵まれ素晴らしい撮影会となりました。

11月3日(金祝)には第３回が開催されることも決まっており参加者の募集も始まっております。紅葉の最盛期ですので、興味がおありの方はどうぞご参加ください。

6月4日　天目山茶会

摩利支天堂の花

前々日の大雨で境内は倒木や山から流れ出た土砂・枯葉などで大荒れとなり片付けと掃除が大変でした。またお寺の前の道路は雨量が最大値を超え通行止めになったため、支度に来るお茶の先生方の移動が心配される事態に。しかしギリギリのタイミングで解除となり、支度も整い、なんとか開催することができました。

約100名の参加者に爽やかな新緑の天目山をお楽しみいただきました。また八王子からお出ましいただき、揚げパンを100個提供してくれたパン職人さんもありがとうございました。参加の子供達も大喜びでした。

6月29日　鎌倉流詠歌講（えいかこう）　詠導師・師範の移動講習会

石庭会館での練習

栖雲寺の石庭会館を会所として、鎌倉流詠歌講の詠導師（御詠歌をされる和尚様）と師範の講習会が行われました。和尚様もですが大半の先生方が栖雲寺は初めてとのこと。涼しい天目山で有意義な御詠歌の練習ができたと思います。私はほぼ初心者ですが練習に参加させてもらいました。甲州市周辺にも素晴らしい師範が大勢いらっしゃいますので、御詠歌に興味がおありの方は是非お寺までお問い合わせください。

7月27日　大和小学校　校外学習会

本堂の雑巾がけ

栖雲寺開山業海本浄禅師の命日である7月27日に毎年行われている寺子屋、大和小学校の全校児童が参加する学習会です。坐禅の後に児童それぞれが持ち込んだ夏休みの宿題などに取り組む勉強会、そして板の間の雑巾がけ、私の拙い法話を聞いてもらい学校へ帰りました。

8月19日　徒弟（とてい）の弘敬（こうけい）が一時帰山

栖雲寺の徒弟である弘敬禅士が京都の修行道場から暫暇(ざんか＝自坊の手伝いなどの理由で暫くのお暇をいただくこと)しました。8月10日から約3週間の暫暇を頂戴したので、前半のお盆中は奈良県や静岡県に出向き同じ道場の修行仲間のお寺で手伝いをさせてもらい、お盆明けの8月19日に栖雲寺へ戻ってまいりました。半年ぶりのしかも短い帰山でしたが、滞在中には宿泊坐禅会があったので、参加者と一緒に坐り手伝いもしてくれました。またお参りの檀家様からのお声がけ等もいただき本人にとっても大きな励みになったと思います。

その後は家族の元でしばらく過ごして身体を休め、9月1日に京都の道場へ戻りました。僧堂での様子をたくさん聞かせてもらいましたが、弟子も雲水として1年を超えやっと僧堂生活に慣れてきたようです。臨済宗建長寺派は厳しくて3年の修行歴がないと必要な僧侶の位が取得できず、どこのお寺の住職もできませんので、今やっと折り返し地点に差し掛かったところ。老師様の御指導の下でもうしばらく禅の境涯を深めてもらいたいところです。

双馬頭観音（そうばとうかんのん）　御遷座（ごせんざ）

「栖雲寺の蕎麦祷（そばとう）観音」

蕎麦祷観音のイラスト

境内で雨ざらしになっている二体の馬頭観音石仏がありました。共に江戸時代中期の御尊像で一体は宝暦八年もう一体は安永八年の馬頭観音様です。並べて安置された二体の石仏は、双馬頭観音として長く御参拝いただき、またお供えなどもいただいておりました。

左：安永8年、右：宝暦8年

馬頭観音は旅する人々の安全を守り、また動物の無病を守る仏様です。そして眷属の白馬は速やかに観音様を目的地に運ぶことから、様々な心願を速やかに叶えてくれる仏様としても信仰されています。

甲府の料理屋の主人から譲り受けた小さな東屋がちょうどいい大きさでしたので、双馬頭観音様にはその下へと御遷座いただきました。

蕎麦切発祥の地にある双馬頭観音は、いつの頃からか蕎麦祷観音として親しまれるようになったと伝わります。その御霊験によって後世まで皆が幸せでいられますよう、ご来山の際には蕎麦の種をお供えしてお手を合わせていただけたら幸甚です。

坐禅研修の申し込みが増加

宿泊研修での岩坐禅

今年1月から9月の間に、小学生・企業・スポーツ少年団などの一般的な坐禅研修からヨガ教室とのコラボや断食に至るまで、3件の宿泊研修を含む25件の坐禅研修を行いました。やはりその中でも石庭の岩坐禅に称賛の声が寄せられました。研修は今後もまだまだ増やしていきます。